

令和6年度第1回水戸市立博物館協議会

日時 令和6年7月26日（金）

午前10時から

場所 水戸市立中央図書館

3階視聴覚室

議 題

1 報告事項

- (1) 特別展「江戸氏—知られざる水戸の戦国時代—」の結果について
- (2) 令和5年度博物館事業の実施結果について

2 協議事項

- (1) 企画展「夏休み子どもミュージアム そらとぶいきもの大集合！」の開催について
- (2) 常陸山生誕150年記念特別展「常陸山谷右衛門—「角聖」の生きた時代—」の開催について

3 その他

※ 閉会後に、企画展「夏休み子どもミュージアム そらとぶいきもの大集合！」の会場を御案内いたします。

水戸市立博物館協議会委員名簿

(任期：令和6年7月15日～令和8年7月14日)

氏名	役職等
桐原 幸一	茨城生物の会会長
笹目 礼子	県立歴史館歴史資料課長
桑名 実	市学校長会代表・稲荷第一小学校校長
河原 将子	市文化振興協議会副会長
中庭 忠	水戸商工会議所副会頭
村山 朝子	茨城大学名誉教授
安嶋 隆	茨城生物の会副会長
小坪 のり子	県弘道館事務所主任研究員
添田 仁	茨城大学人文社会科学部教授
玉川 里子	学識経験者
塚原 正彦	牛久市議会議員・ みんなのミュージアムうしおくるプロデューサー
藤 和博	県立歴史館首席研究員
藤本 陽子	学識経験者
マーサー川又	市議会代表

(順不同・敬称略)

事務局名簿

氏名	役職等
小川 邦明	水戸市教育委員会事務局 教育部 歴史文化財課長
鈴木 雅人	同課 水戸市立博物館長
富永 慧	同課 文化財係長
鎌田 洸一	同課 水戸市立博物館 学芸係長 (自然部門担当)
小野瀬 永子	同課 水戸市立博物館 学芸員 (民俗部門担当)
中村 有紀子	同課 水戸市立博物館 学芸員 (美術部門担当)
藤井 達也	同課 水戸市立博物館 学芸員 (歴史部門担当)
平井 佐知子	同課 水戸市立博物館 会計年度任用職員

報告事項(1) 特別展「江戸氏—知られざる水戸の戦国時代—」の結果について

1 概要

1430年代に水戸城に入った江戸氏は、天正18年(1590)に佐竹氏によって滅ぼされるまでの間、160年近くにわたり水戸の地を拠点としました。江戸氏は水戸に基盤を置くと、水戸を取り巻く交通・流通網を掌握するとともに、水戸の地を都市として整備しました。また、江戸氏は地域寺社の保護に務め、その援助のもとで独自の地域文化が花開くことにもなりました。

本展覧会では、戦国時代の水戸及びその周辺地域で重要な役割を果たすこととなった江戸氏の姿を、地域に残された資料から明らかにしました。

また、本展覧会は、「JSPS 科研費若手研究「戦国期奥羽領主の権力編成と「洞」—福島県浜通りと隣接地域を中心に—」(研究代表者 泉田邦彦)の協力を得て実施しました。



4階展示室 1



4階展示室 2



3階展示室

2 会期

令和6年2月3日(土)～令和6年3月10日(日)(32日間)

3 入場者数

4,257人

【内訳】(有料入場者)

一般券 970人 割引券 39人

(無料入場者)

招待券 1076人 幼児 24人 小・中学生 341人

高校生 26人 65歳以上 954人 その他無料入場者 827人

※全入場者数に占める有料入場者の割合 約23.7%

4 顧客満足度

約87.2%(N=227) 満足145, やや満足53, 普通19, やや不満6, 不満4

5 関連行事の結果

(1) 特別講演会

「江戸氏の領域支配と『洞』」

期 日：令和6年2月25日（日）13時30分～15時00分
 講 師：泉田邦彦（石巻市博物館、東北大学専門研究員）
 会 場：みと文化交流プラザ6F大会議室
 参加者数：187名



※本講演会は、「JSPS 科研費若手研究「戦国期奥羽領主の権力編成と「洞」—福島県浜通りと隣接地域を中心に—」（研究代表者 泉田邦彦）と共催で実施した。

(2) 講演会①「江戸氏と府中合戦」

期 日：令和6年2月18日（日）13:30～15:00
 講 師：森木悠介（東海村立図書館司書）
 会 場：水戸市立中央図書館3階 視聴覚室
 参加者数：50名



(3) 講演会②「江戸氏一族の戦国時代」

期 日：令和6年3月2日（土）13:30～15:00
 講 師：藤井達也（水戸市立博物館学芸員）
 会 場：水戸市立中央図書館3階 視聴覚室
 参加者数：48名



(4) ギャラリートーク

期 日：令和6年2月4日（日）、2月23日（金・祝）、3月10日（日）
 各日とも 11:00～11:40、14:00～14:40

講 師：藤井達也（水戸市立博物館学芸員）
 会 場：水戸市立博物館4階・3階展示室
 参加者数：2月4日 11:00～ 46名 14:00～ 28名
 2月23日 11:00～ 25名 14:00～ 22名
 3月10日 11:00～ 73名 14:00～ 92名



6 アンケート集計結果（回答者数：228人）

(1) 展示会の広報について

① この展示会を何でお知りになりましたか？

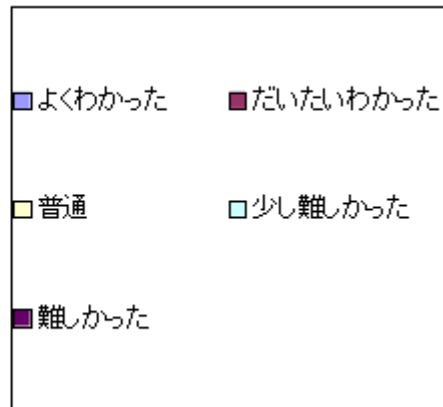
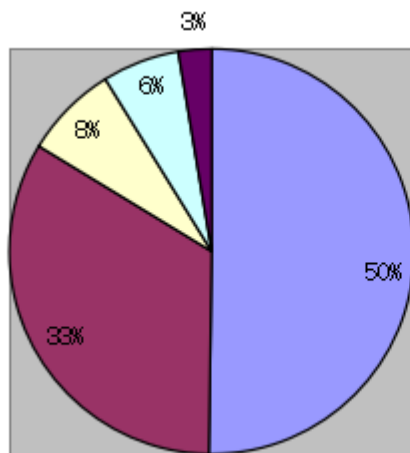
ポスター	48
チラシ	60
広報みと	21
ホームページ	23
SNS	27
新聞	11

雑誌・タウン誌	2
テレビ・ラジオ	2
人から聞いて	31
博物館・図書館に来てみて	38
その他	27

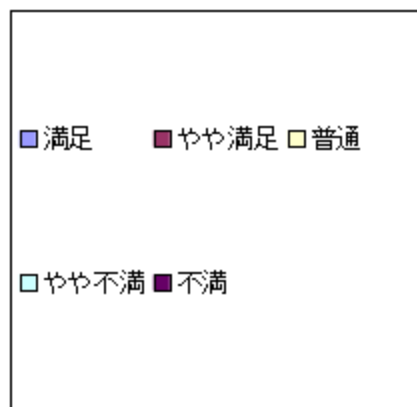
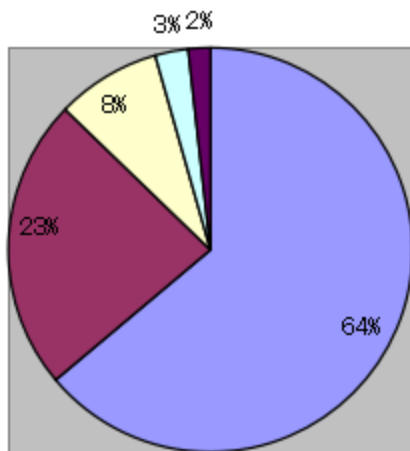
※その他 人から聞いて4 / 学校で教えてもらった4 / 配架されたチラシ3
 招待券をもらった3 / 薬王院の見学会3 / 水戸駅観光案内所2
 茨城城郭サミット2 / Google マップ2 / ホテルの帰りに見つけた1
 博物館の前を通過して1 / 小学校で配られたチラシ1 / 攻城団のHP 1

(2) 今回の展覧会について

① 今回の展覧会の内容について、どう感じましたか？



② 今回の展覧会の満足度はどうでしたか？



③ この展覧会に対する御意見や御感想をお聞かせください。(一部抜粋)

【全体に関わる感想】

- ・あまり知らない江戸氏についてよく知ることができた。(60代、県外、初訪問)
- ・残る資料の少ない中よく集められて今回展示に至ったこと、大変よかったと思います。当時の地図や絵巻もあって、歴史に興味の薄い私にも楽しめました。(50代、市内)
- ・今まで徳川以降は色々な展示会があり、ふれあう機会がありましたが、江戸氏はほとんど知らなかったなので、今回良い企画で満足しました。(60代、市内)
- ・水戸徳川家や佐竹氏に比べ、史料も少なく謎も多い江戸氏をメインに取り扱っていただきうれしく思います。史料が散っていてまとめづらく、動向も掴みづらい江戸氏

について理解が深まりました。ありがとうございました。(20代、県内)

・赤塚が地元なので河和田城、中妻三十三郷などあちこち見て回り、名前しか知らなかった江戸氏に関する物事、事績、歴史がよく分かり、また、海老沢、立原、平戸など身近にいる人達の名前などの知識など、肌感覚で大変面白く、感動しました。(50代、市内)

・身近な地名や寺の名前が出て、親近感を持てた。(40代、市内、初訪問)

・色々な史料や地図、モノで江戸氏に迫る展示でおもしろかったです。徳川や佐竹でないテーマもよいなと思いました。(20代、県内)

・あまり語られてこなかった佐竹以前の水戸についてわかってよかった。地域になじみのある名字の人物も登場して興味深かった。(30代、市内)

・江戸氏に対する地元の熱量を感じた(江戸時代から)。学芸員さんの工夫と苦勞が詰まっていた。(市外)

・神奈川県横浜市から来ました。佐竹氏は知っていましたが、江戸氏はあまり知りませんでした。戦国の厳しい戦いの(村に火を放つなど)様子がわかる書状などを見て大変な時代だなと思いました。(50代、県外、初訪問)

・江戸氏については名前と河和田城くらいしか知らず、気になる存在だったが、あちこちの寺院(和光院・妙徳寺・手子后神社・中原二所・牛伏二所・鯉淵。赤尾関城跡…その他)を見て回り、大変身近に感じるようになった。佐竹については研究が進んでいる様だが、江戸氏の話も大変おもしろく興味がわいた。またぜひ江戸氏に関する催し物を開催してほしい。大満足しました。今回の展示の図録の再発行をお願いします。(60代、市内)

・水戸市に住む者として大変貴重な資料で、大変勉強になりました。このままではもったいなく、市内の子供、青年たちにわかりやすく広く知らせるべきではないかと思いました。すばらしい企画でした。感謝。

・歴史をあまり知らぬ者なので佐竹氏のものを見ていると出てくる江戸氏、今回江戸氏の起こりから終焉までを見せてくださり、ひとつ無知な歴史好きのもやもやがすっきりとしました。ただ、残念なのは図録が完売してしまった事です…。次回またすてきな展示をおまちしております。藤井先生のギャラリートーク、ていねいでとても素敵でした。(40代、県内、初訪問)

・地元の歴史を200円で学べたら安いと思った。水戸がどんなルーツで今の形になったのか、また知りたいと思った。(20代、市内)

・江戸氏の来歴がわかりやすくまとめられていて、理解しやすかった。城+地域などを逐一地図でわかりやすく記されており、史料や解説をみながら参照できてよかった。(20代、市内)

・とても充実して見応えがあった。佐竹より長い治世に驚いた。これからも研究を続けて展示してください。(40代、県内)

・大変に充実した展覧会で驚きました。江戸氏の展開がよくわかりました。ぜひ今後も企画を継続していただきたい。(40代、県内)

・城郭サミットで藤井氏の発表を聞いた後でしたので、大変わかりやすく、展示も人の動きが浮かぶような、江戸氏の滅亡までの流れを面白く見ることができました。特に 4 階展示の江戸氏の領域支配の展示は、領主ながら中間管理職をうまく使っている様子が、文章の読み下しから感じることで楽しく見られました。考古遺物の展示があったのもよかったです。ありがとうございました。(40 代、県外、初訪問)

・学芸員さんの日頃の研究成果が、展示に詳細にわかりやすくいかされていて素晴らしい展示でした。(70 歳以上、県外)

・数多く古文書資料が残っていると分かり、驚きました。小野崎氏についての資料もあれば見てみたいです。政宗の密書現物が見れて感激です。

・鳥子江戸氏という存在を、本展覧会で初めて知りました。有名な和光院過去帳の実物を見ることができ、感動しています。江戸氏、佐竹氏など茨城にまつわる展覧会があれば、またお邪魔したいです。(30 代、県外、初訪問)

【行事に関わる感想】

・学芸員によるギャラリートークがわかりやすく、親しみやすい内容でよかった。(40 代、市内、初訪問)

・学芸員さんの解説ツアーがあり、とても丁寧な解説してくれました。様々な質問にも丁寧に回答してくれていてすばらしかったです。(50 代、県外)

【展覧会に対する意見】

ア. 展示方法

・照明がもう少し明るいと言語が読めて良かったです。(70 歳以上、県内)

・字が小さいので読みにくい。大きくして下さい(30 代でもきついです)。(30 代、市内)

・一部わかりにくい所あり。例えば、片倉城跡のところに地名(現在の)が載っていない。小美玉市堅倉とわかるまでしばらくかかった。素人にわかりやすく解説するには、現在の地名や地図を載せないと難しいと思う。(40 代、県内)

イ. 展示内容

・古文書が多く、見ていて疲れました…。Youtube 等で見どころ解説をやってほしい。(県外)

・古文書、寺以外の子孫に伝わるものが見たかった。(県外、初訪問)

・江戸氏については初めて知った。よく分からない部分もあったので、もう少し初歩的な説明も欲しかった。(50 代、県内)

・江戸氏の家臣についてもっと知りたくなったので、できれば詳しく教えてほしかった。(40 代、市外、初訪問)

ウ. 展示会場関連

・やはり案内人がいた方がよい。会期中、見所の講演をすべき。(70 歳以上、県内)

エ. 情報発信

- ・地元の歴史などを学べておもしろかった。子供たちに興味を持ってもらえるようにできたらもっといいかも。(40代、県内)
- ・内容が素晴らしい展示をされているのに客が少ない。今回のようにインパクトの強いポスターは効果的に感じます。(60代、市内)
- ・江戸氏の存在があまねく県民に知られるようもう少しSNS等でのアピールがあってもよかったのでは。歴史好きとしてはもったいない気がします。(50代、県内)

オ. 展示テーマ

- ・次は大掾氏の展示をやってほしい。(40代、県内)
- ・江戸氏について定期的に行ってほしいです。(40代)
- ・常陸イコール佐竹のイメージが強いので、こういう土豪の展覧会をもっとやってほしいです。(40代、県外、初訪問)
- ・小学生の子どもが興味深く展示を見ていました。今後も地域に根付いたテーマがあるといいと思います。(40代、市内)

カ. 図録

- ・展示はすばらしかったです。図録完売が残念でした。(40代、県外、初訪問)
- ※図録再販を希望する意見を48件いただく

(3) 今後開いてほしい展覧会について

ア 歴史

水戸市の古代史など(50代、市内) / 奈良時代に興味あり、台渡里廃寺等(70歳以上、市内) / 水戸城、水戸街道、那珂川、江戸氏の続き(40代、市内) / 水戸城について詳しく知りたいです。(40代、市内、初訪問) / 中世の山城について(60代、県外、初訪問) / 大掾氏(60代、市内)(40代、県内、初訪問)(40代、県外、初訪問)(40代、県内)(30代、県内)(50代、市内) / 佐竹氏以前について(40代、市内、初訪問)(60代、県外、初訪問) / 佐竹氏(50代、県内)(40代、県内、初訪問)(70歳以上、県内、初訪問)(10代、市外)(50代、県内) / 佐竹義宣(10代、県外、初訪問) / 江戸氏周辺の歴史(70歳以上、県内、初訪問) / 有名な戦国大名と水戸との関わり(40代、市内) / 江戸氏、佐竹氏など茨城にまつわる国衆や武家について(30代、県外、初訪問) / 戦国時代の姫のこと(10代、市内、初訪問) / 那珂川流域の考古展示、特に中近世の流通に関するものを作ってほしい!!(40代、県外、初訪問) / 中世の水戸の水運について(40代、県外、初訪問) / 六地藏寺や和光院、吉田社、薬王院等中世寺院の展示(30代、県内、初訪問) / 徳川光圀(40代、県外、初訪問) / 江戸時代の水戸の活躍、朱舜水の動きなど(70歳以上、県内) / 水戸徳川家の姫たちについて知りたい(10代、市内) / 水戸藩の御連枝守山藩について(50代、県外) / 水戸藩歴代藩主(70歳以上、県内、初訪問) / 6代徳川治保と長久保赤水、加倉井砂山(70歳以上、市内) /

江戸時代の農民の生活（70歳以上、市内）／古代から江戸の水運、街道について見てみたい。（30代、県内、初訪問）／幕末における水戸学とは（日本全体の国土へ影響を与えていたので）（20代、市内）／天狗党（70歳以上、市内）（40代、市内、初訪問）／明治の水戸について、軍や地方改良運動とあわせて知りたい（20代、県内）／陸軍歩兵第二聯隊展（40代、県内）／戦後の水戸（20代、県内、初訪問）／水戸市に昔走っていた鉄道から今の鉄道の歴史（10代、市内、初訪問）／市内の周辺地区の歴史に関わる展示（30代、市内）

イ 民俗

これまでも展示がありました。商業関係について（特に戦前）展示されたらうれしいです。（50代、市内）／水戸市内の民俗について（40代、県外）／無くなった店、道、祭り、学校（60代、市内）／祭礼について（20代、県内）

ウ 自然

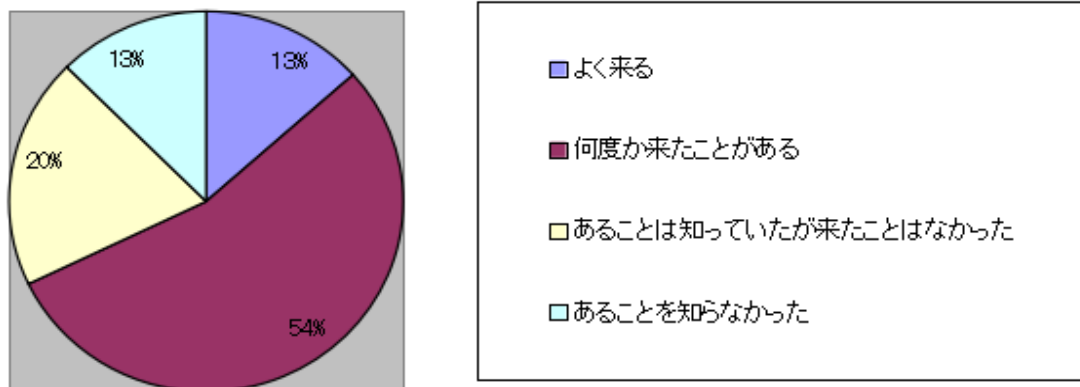
恐竜（20代、市内、初訪問）／水戸の地層や断層など、防災に絡めて知りたい（40代、市内）／水戸八景とか自然系（成立や現在の状況）（40代、市内、初訪問）／うちゅう（9歳以下、県内）／鉱物（10代、県内）／地震（40代、市内）

エ 美術

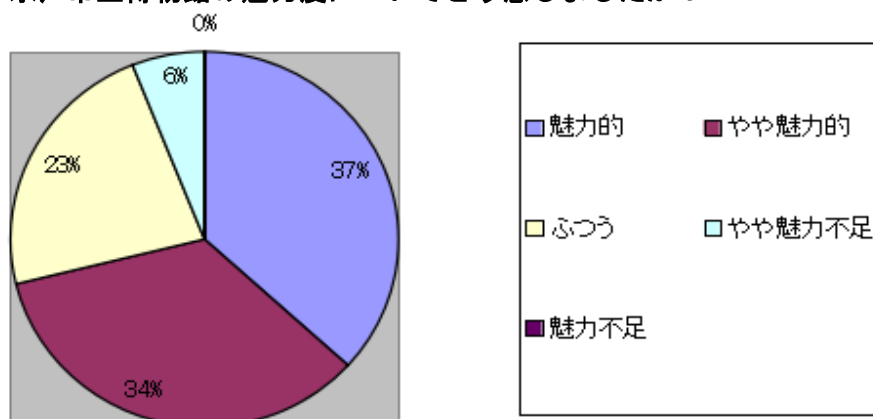
美術（絵画）（60代、市内）／五百城文哉（40代、県外、初訪問）／林十江や立原杏所などの水戸の書画展（60代、市内）

(4) 博物館について

① 今まで博物館に来たことはありますか？



② 水戸市立博物館の魅力度についてどう感じましたか？



(5) 博物館の全体的な展示，施設，運営などについて，ご意見やご希望がございましたらお聞かせください。（一部抜粋）

【施設について】

- ・駐車場が少々停めにくかったです（まちなかにあるため仕方ありませんが…）（40代、県外、初訪問）
- ・駐車場をもっと確保してほしい。いつも満車です。展覧会を見に来た人に他の駐車場の割引券とかがほしい。（40代、市内）
- ・案内人がいた方がよい。イヤホンでもよい。（70歳以上、県内）
- ・施設が老朽化している。展示内容は良いと思いますし、講演会なども勉強になるからもったいないです。（県外）
- ・施設が古いので、導線でわかりづらい点がある。（70歳以上、市内）
- ・初めて来たのですが、駐車場と博物館入り口がわからなく迷いました。（40代、県内、初訪問）
- ・イス、その他休憩場所がほしい。（70歳以上、市内）
- ・ロッカーを増やして下さい。ある場所がわからなかった（40代、県外、初訪問）
- ・階段がづらい（60代、市内）

【展示について】

- ・展示数が適量でよかった（40代、県外、初訪問）
- ・江戸氏のような水戸にまつわる歴史の企画展を期待しています。（70歳以上、市内）

【運営について】

- ・年度初めなどに特別展示を開催される場合、気がついたら会期終了直前で来館できないことがある。もっとPRしていただきたい。（50代、県内）
- ・もっと広くみなさんに足を運んでもらいたい。少人数でツアーを組んではどうか。神社、仏閣まで含めて。（市内）
- ・スタッフの方がみなさんやさしくて、今後とも利用したいと思いました。（40代、市内、初訪問）
- ・ツイッターで図録に関する発信をしていただき、大変参考になりました。（40代、県外、初訪問）
- ・お聞きしたいことがありますが、担当者を置いてください。（市内、初訪問）
- ・過去の図録とか見ましたが、読み応えがありました。（40代、市内、初訪問）
- ・史料保管スペースの確保、耐震、展示経費の増額、学芸員の増員を希望する（市外）
- ・企画展をもっと広く広報できるとよい。たまたまXで見つけました。（50代、県内）
- ・ポスターはとても興味を引くデザインなので、子どもたちが訪れやすい雰囲気がある場所になるといいと思います。（50代、県内）

(6) 回答者について（計：228人）※無回答は除く

① お住まい

水戸市	100人	
水戸市外（県内）	72人	ひたちなか市、那珂市、日立市、つくば市他
水戸市外（県外）	40人	郡山市、那須塩原市、千葉市、港区、横浜市他

② 交通手段

電車	30人	バス	20人	自家用車	135人
タクシー	0人	バイク	0人	自転車	13人
徒歩	33人	その他	2人		

③ 性別

男性	101人	女性	85人
----	------	----	-----

④ 年齢

9歳以下	10人	30代	16人	60代	34人
10代	22人	40代	43人	70代以上	41人
20代	18人	50代	34人		

(6) その他ご意見・ご感想がございましたらご自由にお書きください。

- ・また楽しい展示をお願いします。（40代、県外、初訪問）
- ・毎年この時期の展覧会は楽しみにしています。（60代、市内）
- ・また楽しそうな展示があれば来ます！（徳川ミュージアムがメインで来ました）ありがとうございました！（50代、県外、初訪問）
- ・これからも面白い興味深い展示をお願いします。（40代、県内）

（アンケート回収件数：228件 アンケート回答率：約5.4%）

報告事項(2) 令和5年度博物館事業の実施状況について

【I 資料の収集について】

1 寄贈資料（寄贈者名は敬称略）

(1) 自然部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	鳥の巣	1	木村敏之
2	昆虫標本（ドイツ箱13箱）	1式	菅より子
3	カマキリの抜け殻	1	益子英夫
4	ハイタカ	1	杉山靖夫
5	化石 （恐竜の卵の殻片・亀の甲羅片）	2	非公表
6	カヤネズミ ほか（液浸標本）	3	桐原幸一

(2) 歴史部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	鮭の留網漁で使った鈴	2	中村盛昭
2	絵葉書	15	海野富男
3	高射砲 90mm 砲弾薬莢	1	内田理
4	鮭漁に用いたヤス	1	中村盛昭
5	那珂川の鮭漁の写真 ほか	5	黒沢則子
6	塙家資料	11	塙融
7	杉本五郎『大義』 ほか	3	栃木敏男
8	郡司家旧蔵資料	6	関敬
9	絵葉書	8	平山美登里
10	郵便切手貯金台紙 ほか	4	非公表
11	日光山全図 ほか	20	金澤知則
12	招集と敗戦	1	堀江芳枝

(3) 民俗部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	茨城交通バスの乗車券 ほか	35	菅井直也
2	包装紙 ほか	49	清水邦明
3	団扇 ほか	44	水野瑞樹
4	キセル ほか	36	塙融
5	マッチ（ボックス型・ブック型）	1式	菊地隆夫
6	東海研究所のしおり ほか	5	川崎貞
7	ジンマートのホッチキス	1	菅井英夫
8	主要食糧購入通帳	1	後藤敦子

9	第29回国民体育大会総合優勝茨城県記念メダル ほか	6	栃木敏男
10	薬箱 ほか	68	澤口彰宏
11	半天 ほか	9	玉川里子
12	技術計算用計算尺 ほか	18	菅原信男
13	二眼レフカメラ ほか	17	戸張千雅子
14	湯桶 ほか	227	前島要
15	お土産用の貝殻詰め合わせ	1	黒澤芳恵
16	貝殻の標本	1	浜口悦子
17	炭火アイロン ほか	2	菅井直也
18	読書用拡大鏡	1	中島潤子
19	生命保険等パンフレット ほか	204	永尾慧子

(4) 美術部門

No.	資料名	点数	寄贈者
1	木内克「座像」	1	(株)セントメディケア 代表取締役 久保田啓藏
2	中村光哉ろう染め作品 ほか	8	山口俊彦
3	中村光哉作品及び中村勝馬・光哉 関連資料	34	中村笠美

2 取得資料

部門	資料名	点数
自然	カルガモ斃死体	1
自然	ハツカネズミ斃死体	1

【Ⅱ 資料の保存について】

1 資料の修復

部門	資料名	内容
歴史	「水戸城下絵図」 1紙	欠損部分の補紙，裏打ち直し等
	「徳川光圀書簡」 3点（卷子装）	

2 設備等の修繕

修繕箇所	内容
4階収蔵庫系統 加湿・除湿機	機器交換

【Ⅲ 資料の展示・活用について】

1 常設展

部門	テーマ	期 間
自然	水戸のいきもの	通 年
歴史	テーマ1 旅・観光から見る水戸の歴史 テーマ2 戦争に行った者たち	通 年
民俗	『何を願って、どう戦った!!』－戦時下の暮らし－	通 年
美術	水戸の美術Ⅰ テーマ1 近現代の彫刻家たち テーマ2 稲田三郎の抽象版画	令和5年9月9日～ 10月1日
	水戸の美術Ⅱ テーマ 近現代の洋画－人物を描く－	令和5年12月9日～ 令和6年1月8日
	水戸の美術Ⅲ テーマ1 工芸／山のある風景 テーマ2 水戸の日本画	令和6年3月23日～ 5月26日

【民俗部門常設展示 関連行事】

平和キャラバンが行く！

- ① 「何を願って、どう戦った!! ー国策紙芝居と実物資料で知る戦争ー」

期日・場所 7月22日（土）13:00～16:00 三の丸市民センター

参加人数 39人

- ② 「何を願って、どう戦った!! ーパールハーバーを知っていますか?ー」

期日・場所 12月9日（土）13:00～16:00 三の丸市民センター

参加人数 32人

- ・国策紙芝居の実演, 戦争関連の絵本の朗読
(見澤淑恵氏・次世代に伝えたい朗読と紙芝居のオリーブ)
- ・国策紙芝居の解説と実物資料の解説 (玉川里子氏・坂本京子)
- ・お楽しみ工作教室 (博物館ボランティア)

2 教育普及事業

(1) 学校連携事業

① 体験講座・見学等

内 容	校数	内 訳	人数	備 考
むかしの道具の実体験講座 と博物館見学	8	小学校 7 特別支援学校 1	525	
博物館見学	2	小学校 1	35	
		中学校 1	21	
博物館実習	2	大学 2	3	

内 容	校数	内 訳	人数	備 考
職場体験	2	中学校 2	3	
合 計	14		587	

② 学校への資料の貸出

部 門	校数	内 訳	資 料 内 容
歴史部門	3	高等学校 2	戦争関連資料（手榴弾，艦砲射撃弾の破片，焼夷弾，千人針，日章旗等）
		大学 1	
民俗部門	1	小学校 1	プール竣工のしおり 他 14点 （常磐小創立150周年記念展にて展示）
合 計	4		

(2) 一般向け事業

① みと歴史講座

テーマ	期 日	講 師	参加人数
「水戸鈴木家文書」を読む 一家康の自立から水戸藩家臣団の誕生まで	10月1日	藤井達也	38人
石河明善日記をよむ －日記に見る激派と鎮派－	12月2日	笹目礼子氏	36人
水戸の芸妓たち －発祥・隆盛・衰退，そして今－	12月16日	額賀せつ子氏	39人
合 計			113人

② 自然観察会

テーマ	場 所	期 日	講 師	参加人数
春の植物観察会	逆川緑地	5月1日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	14人
夏の昆虫観察会	逆川緑地	7月30日	佐々木泰弘氏	20人
秋の植物観察会	逆川緑地	10月8日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	20人
冬芽・葉痕の観察会	逆川緑地	1月14日	浜口喜夫氏 浜口悦子氏	12人
野鳥観察会	大塚池	2月3日	後藤俊則氏	20人
合 計				86人

③ その他の講座

講座名	期日	講師	対象
令和5年度基本研修第1部課程 前期研修「水戸の歴史」	4月13日	藤井達也	令和5年度 水戸市新規採用職員58人
中世都市水戸の成立 －水戸と江戸氏－	5月26日	藤井達也	常磐市民センター 常磐歴史研究会会員21人
水浜電車とその歴史	6月6日	藤井達也	下大野高齢者大学受講生 35人
令和5年度茨城県市町村歴史民俗 資料館連絡協議会第1回研修会	10月6日	藤井達也	茨城県市町村歴史民俗資 料館連絡協議会加盟館職 員 14人
令和5年度高齢者福祉講座 「水戸城とその歴史」	11月8日	藤井達也	茨城県年金協会会員33人
源氏物語女人絵巻 八－最愛の女 人との別れ …そして雲隠－	1月17日	坂本京子	五軒女性教養講座受講生 13人
合 計			174人

(3) ぴ～すプロジェクト

① わたしは戦争を忘れない ー戦中・戦後を生きてー

日 時：令和5年8月2日（水） 14:00～16:00

8月15日（火） 14:00～16:00

講 師：2日…田添洋子氏・大谷岩男氏

15日…住谷定氏・鈴木瑛一氏

会 場：みと文化交流プラザ 6階大会議室

参加者数：2日 72人，15日 56人

② 「私たちが受け継ぐ戦争の記録 ーつなげ、過去と未来 東京と水戸ー」

東京大空襲・戦災資料センターとの共催により、Zoomによる生配信のオンライン開催で実施した。東京と水戸の中学生・高校生・大学生が自分たちの街が経験した戦争や空襲を伝えることに挑戦した。空襲体験記や戦争にまつわる詩を朗読するとともに、戦争体験者、オンラインによる参加者も交えて語り合うことで、戦争の実態を学び、体験の継承を考える機会を提供した。

開催前の7月25日（火）から27日（木）にかけて、参加する中学生・高校生向けの事前指導として、戦争体験者のお話の聴講、舞台俳優による朗読ワークショップも開催した。

日 時：令和5年8月19日（土）13:00～16:00

会 場：水戸…水戸中央教会（水戸市大町）

東京…戦災資料センター 映像講話室（東京都江東区）

朗読者、戦争体験者以外の一般視聴者は、Zoom を利用したオンラインによる参加

参加者数：朗読者水戸 23 人（水戸一高附属中・水戸女子高・水戸工業高・茨城大）

東京 8 人（中村高）

戦争体験者 1 人、

一般視聴者 19 回線

(4) 博物館資料「石河明善日記」刊行事業

① 石河明善日記解説定例会

19 回開催

3 資料の貸出等

(1) 資料の貸出（学校を除く）

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
自然部門	1	東海村立図書館	昆虫標本 10箱・写真パネル 5 枚
歴史部門	1	茨城県立歴史館	水戸浪士追討絵図 他 4 点
美術部門	1	東京都美術館	辻永作品 99点

(2) 写真・画像使用の許諾（資料貸出に伴うものを除く）

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
美術部門	1	印刷物掲載 1	・ 櫻井雪保 板戸絵「龍図」「虎竹図」2 点 （大井町役場発行の広報紙の連載記事「大井の文化財」）

部 門	件数	内 訳	資 料 内 容
歴史部門	15	研究・講座等 5	<ul style="list-style-type: none"> ・青門肖像 1点 (日新塾跡日本遺産認定8周年記念講演「加倉井砂山と初代川崎八右衛門」) ・昭和11年水戸市航空写真 1点 (弘道館・茨城県立図書館共同開催「紙芝居とお話で伝える水戸空襲と弘道館」) ・「水戸市全図(大正12年)」 他 2点 (『令和4年度 遺跡整備・活用研究集会報告書「近世・近代における旧跡・名所の保存顕彰」) ・「水戸御城下絵図」(宝暦11年～) 他 2点 (見和図書館 第4回歴史講座) ・井伊直政黒印状 1点 (卒業論文)
		印刷物掲載 3	<ul style="list-style-type: none"> ・水戸城三階櫓の画像 他 4点 (水戸観光コンベンション協会「水戸の城下町マップ」) ・武石浩波と飛行機(特別展図録P31) (水戸第一高等学校 校内案内リーフレット) ・水戸城下絵図 他 5点 (自費出版の同人誌)
		その他 7	<ul style="list-style-type: none"> ・弘道館図 1点 (大洗町幕末と明治の博物館第10回企画展「ふじき たけきー徳川斉昭のブレーン藤田東湖の魅力に迫るー」) ・錦絵 耕雲斎筑波山籠 1点 (JR東日本「歴史講談 水戸漫遊」) ・常陸山全身写真 他 3点 (富山県民生涯学習カレッジ 郷土学習教材) ・空襲後の水戸駅前 他15点 (平和教育動画株式会社のYoutube及びTiktokチャンネル) ・下市病院画像 1点 (中野リウマチ膠原病クリニックホームページ) ・水府浪士追討絵図 他 3点 (『常陽藝文』2005年12月号 電子書籍化) ・水戸城三階櫓古写真 1点 (石川県金沢城調査研究所 研究紀要のインターネット公開)

協議事項(1) 企画展「夏休み子どもミュージアム そらとぶいきもの大集合！」 の開催について

1 名称 夏休み子どもミュージアム「そらとぶいきもの大集合！」

2 趣旨

鳥のように自由に大空を飛ぶことは、はるか昔から人類にとって大きな憧れとなってきました。生物として初めて昆虫が空に進出したのは、今から3億年ほど前の石炭紀末期頃と考えられており、その後、鳥類や一部の哺乳類などが進化の過程で空を飛ぶ能力を得て、種を繋いできました。空を飛ぶ理由は捕食者から素早く逃れること、獲物の捕獲や繁殖に有利であることなどが挙げられ、それらは生息域の拡大へと繋がりました。「飛ぶ」ことで得られるメリットは非常に大きいものがあり、そのために独自の進化を遂げた生物は、多様な魅力を持っています。

本展覧会では、市立博物館で所蔵する剥製や標本を中心に展示し、「飛ぶ」ことで繁栄してきた生物の生存戦略を子どもにも分かりやすく紹介することで、子どもの自然への興味・関心を高めるとともに、生物多様性の魅力を幅広い世代に感じていただくきっかけとします。

3 会場

水戸市立博物館 3・4階展示室

4 会期

令和6（2024）年7月20日（土）～8月25日（日）まで（32日間）

※ 月曜休館（8月11日、12日は開館、13日は閉館）

5 入場料

無料

6 展示構成（第1～3章：4階展示室、第4～6章：3階展示室）

- (1) 第1章 とぶってどういうこと？
- (2) 第2章 どうしてとぶの？いきものがそらをめざす理由
- (3) 第3章 そらをとぶいきものたち
- (4) 第4章 空飛ぶ生物を探しに行こう
- (5) 第5章 そらとぶ身近ないきものをさがそう、しらべよう
- (6) 第6章 人類のそらへの挑戦

7 関連行事

- (1) 鳥を呼ぶ笛バードコール作り

太さ3～5cmの輪切りの木と金具の摩擦で鳥の声のような音になる工作。

- (2) 自然観察会「夏の昆虫観察会」
逆川緑地公園において、昆虫を中心とした自然観察を行う。
- (3) オリジナル缶バッジを作ろう
とぶいきものの絵を自由に描いてオリジナルの缶バッジ作りをする。
- (4) VR飛行体験「ハングライダーで大空へはばたけ！」
ハングライダー日本代表選手である鈴木由路氏による飛行映像をVRで体験する。

8 問合せ先

水戸市立博物館 担当：鎌田

住 所：〒310-0062 水戸市大町3-3-20

電 話：029-226-6521

F A X：029-226-6549

メール：museum@city.mito.lg.jp

協議事項(2) 常陸山生誕 150 年記念特別展「常陸山谷右衛門 —「角聖」の生きた時代—」開催要項

- 1 名 称** 常陸山生誕 150 年記念特別展「常陸山谷右衛門—「角聖」の生きた時代—」
- 2 会 期** 令和 6 年 10 月 19 日（土）～11 月 24 日（日） 32 日間
月曜及び 11 月 5 日（火）休館、11 月 4 日（月・祝）は開館
- 3 会 場** 水戸市立博物館 4 階・3 階展示室

4 開催趣旨

常陸山谷右衛門（1874-1922）は、明治時代から大正時代にかけて活躍した水戸出身の大相撲力士としてよく知られている。常陸山は、明治 23 年（1890）に力士としての人生を歩み始め、明治 36 年にはライバルであった梅ヶ谷藤太郎とともに横綱に昇進し、「梅常陸時代」と称される大相撲の黄金時代を築き上げた。常陸山の活躍は土俵上のみならず、アメリカ合衆国のセオドア・ルーズベルト大統領の前で土俵入りを披露したことや、自著『相撲大鑑』の執筆などでも知られている。現役引退後は、日本相撲協会の取締役として相撲や力士の地位向上にも尽力し、その功績の大きさから「角聖」とも呼ばれることとなった。

このように著名な常陸山であるが、これまで博物館等でその生涯を体系的に紹介する機会はほとんどなかった。また、磯節の興隆など、出身地域にも少なからぬ事蹟を残した事実も、十分には知られていない。

そこで、本展覧会は常陸山誕生から 150 年を迎える節目に合わせ、その生涯を追い、相撲界に果たした役割を明らかにする。また、本展では単なる常陸山の事蹟の紹介に留まらず、その生涯に大きな影響を与えた明治から大正の時代背景と常陸山と出身地域との関わりも合わせて取り上げていく。

- 5 主 催** 水戸市立博物館
- 6 入 場 料** 一般 200 円（20 名以上の団体料金 150 円）
18 歳以下、65 歳以上の方、身体障害者手帳及び療育手帳、精神障害者保健福祉手帳所持者とその付き添いの方 1 名は無料、その他各種割引あり
- 7 出 版 物** ポスター、チラシ、図録

8 展示概要

第 1 章 常陸山が生まれ育ったまち

明治 7 年（1874）、常陸山は、旧水戸藩士であった市毛高成の長男として、水戸の宝鏡院

門前にて誕生した。常陸山は、明治 22 年に上京するまでのおよそ 16 年間で水戸で過ごした。常陸山が幼少期から青年期を過ごした頃の水戸のまちの様子を紹介しつつ、常陸山の水戸における動向をたどる。

第 2 章 横綱常陸山の誕生へ

明治 22 年（1889）、進学を志して上京した常陸山は相撲界への思いを募らせ、同郷の出羽ノ海に入門した。成績がふるわず、一時東京大相撲から脱走したこともあったが、明治 30 年に復帰すると頭角を現し、同 34 年には大関、同 36 年には横綱へと昇進する。本章では、常陸山が横綱へと昇進するまでの軌跡と、同時期の相撲界の様相を紹介する。

第 3 章 相撲界への貢献

明治 36 年（1903）に、梅ヶ谷藤太郎とともに横綱に昇進した常陸山は無敵を誇り、「梅常陸時代」と呼ばれる大相撲の黄金期を築き上げた。常陸山は力士として活躍するのみならず、明治 40 年には渡米してアメリカ合衆国のセオドア・ルーズベルト大統領に面会するとともに、同 42 年に竣工した両国国技館の設立に携わるなど、相撲の地位向上に勤め、相撲は「国技」と称されるようになった。本章では、黄金期を迎えた相撲界の姿と横綱としての常陸山谷右衛門の動向を紹介する。

第 4 章 出羽ノ海親方時代の常陸山

大正 3 年（1914）に現役力士を引退した常陸山は、出羽ノ海を襲名して後進の育成に力を入れ、出羽ノ海部屋からは 3 横綱、4 大関他多数の幕内力士を輩出した。また、日本相撲協会の取締役としても辣腕を振るい、力士の地位向上にも大きく貢献した。

本章では、引退後に「出羽ノ海親方」を称した時代の常陸山の動向を中心に、相撲界に与えた影響を紹介する。

第 5 章 故郷とのつながり

明治 22 年（1889）の上京以来常陸山は都内に居住したが、故郷である水戸や茨城県との関わりを重視し、たびたび同地を訪れている。衆議院議員選挙出馬の要請や筑波山登山、茨城県内での巡業など故郷に関わる常陸山の動静は、地域での大きな話題を呼んでいる。また、常陸山が費用を負担して架橋した常陸山橋、常陸山が造立に関わった神力宇賀大明神稲荷など、常陸山に関わる史跡も県内各所に残されている。

本章では、常陸山とその故郷である水戸市や茨城県の関わりを紹介する。

9 その他 各種関連行事を開催

10 問合せ先 水戸市立博物館 〒310-0062 茨城県水戸市大町 3-3-20
TEL 029-226-6521 FAX 029-226-6549 担当：学芸係 藤井達也

参考

○水戸市立博物館条例

昭和55年 3月28日

水戸市条例第21号

改正 昭和56年 3月27日 条例第20号

平成 4年 9月22日 条例第27号

平成24年 3月28日 条例第15号

注 平成24年 3月から改正経過を注記した。

(趣旨)

第1条 この条例は、博物館法（昭和26年法律第285号。以下「法」という。）第18条の規定に基づき、博物館の設置及び管理について必要な事項を定めるものとする。

(設置)

第2条 市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を次のとおり設置する。

名称 水戸市立博物館

位置 水戸市大町3丁目3番20号

(職員)

第3条 水戸市立博物館（以下「博物館」という。）に館長、学芸員、事務職員その他必要な職員を置く。

(観覧料等)

第4条 博物館の入館料は、無料とする。ただし、水戸市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が期間を定めて特別の展示会を開催したときは、教育委員会が定める観覧料を徴収することができる。

2 教育委員会が特に必要があると認めるときは、前項の観覧料を減額し、又は免除することができる。

3 既納の観覧料は、還付しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(損害賠償等)

第5条 入館者は、博物館の施設、設備又は博物館資料を損傷し、又は滅失したときは、速やかに原状に復し、又は市長が定める損害額を賠償しなければならない。ただし、市長が特にやむを得ない理由があると認めるときは、この限りでない。

(博物館協議会)

第6条 法第20条の規定に基づき、水戸市立博物館協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(組織等)

第7条 協議会は、学校教育及び社会教育の関係者、家庭教育の向上に資する活動を行う者並びに学識経験者のうちから、教育委員会が任命する15人以内の委員をもって組織する。

2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠により任命された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 協議会に、委員の互選により委員長及び副委員長を置く。

4 委員長は、協議会の会務を総理する。

5 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(平24条例15・一部改正)

(会議)

第8条 協議会は、委員長が招集し、委員長は、会議の議長となる。

2 協議会は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができないものとし、協議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(委任)

第9条 この条例の施行について必要な事項は、教育委員会規則で定める。

付 則

この条例の施行期日は、教育委員会規則で定める。

(昭和55年教委規則第11号で昭和55年6月15日から施行)

付 則 (昭和56年3月27日条例第20号)

1 この条例は、公布の日から施行する。

2 この条例による改正後の水戸市立博物館条例第6条第2項の規定により任命された委員の任期は、同条第3項の規定にかかわらず、1年とする。

付 則 (平成4年9月22日条例第27号)

この条例は、平成4年10月1日から施行する。

付 則 (平成24年3月28日条例第15号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

今後の水戸市立博物館のあり方に関する要望書

平成26年10月21日

水戸市立博物館協議会

水戸市長 高橋 靖 様

今後の水戸市立博物館のあり方に関する要望書

水戸市立博物館は、水戸の自然や歴史・文化を後世に伝えるため、開館から 34 年間にわたり、水戸に関する資料を収集・保管し、研究につとめて参りました。常設展では収蔵資料を紹介し、特別展その他の行事を通して水戸に関する様々なテーマに取り組んできた実績を持っております。さらに多くの市民や観光客等にむけ、博物館の活動について周知し、集客を図りたいところですが、現状を見るに、職員の努力だけでは解決できない問題が多々あります。それに加え、東日本大震災後の耐震診断によって、耐震補強を行わなくてはならない状況であることが分かりました。

市政の柱として「歴史と文化」を標榜する水戸市にとって、博物館はその中核となるべき施設です。現在、博物館は県内唯一の総合博物館です。その特徴をより生かせる施設・設備を整え、活動を展開していけば、水戸の魅力を包括的に発信する拠点となるでしょう。

今後、水戸市立博物館が、なお一層市民に親しまれ、水戸の文化を未来へとつなぎ、地域の活性化に貢献する場となるためには、まず博物館として十分な機能をもった施設にすることが必要です

本協議会といたしましては、今回の検討を、博物館が現在抱えている課題の抜本的解決を図るまたとない機会と捉え、水戸市の博物館として、本来の使命を果たし得る新たな独立館の整備を強く要望いたします。

平成 26 年 10 月 21 日

水戸市立博物館協議会委員長 鈴木 暎 一

1 博物館の現状と課題

	現状	課題
駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・入口がわかりにくい。 ・狭い（乗用車25台）。 ・資料搬入口と利用者駐車スペースが分離されていない。 ・2トントラックまでしか搬入口に入れない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・バスが駐車できず、団体利用の対応が難しい。 ・安全な資料搬入が難しい。
収蔵庫	<ul style="list-style-type: none"> ・狭隘。 ・空調の不備。 ・バックヤードがなく、一般来館者に見える所にある。 ・作品チェックや梱包のための前室がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収蔵資料、借用資料の適正な保管ができない。
展示室	<ul style="list-style-type: none"> ・狭隘。 ・空調の不備 ・直射日光が入る。 ・ケース全体が不備。 ・雨の吹き込みがある。 ・鍵なしで外に出られる非常口が展示室内にある。 ・展示台や展示ケース等の倉庫なし。 ・併設施設のため入口等がわかりにくい。 ・階層に分かれている。 ・利用者用のエレベーターがない。 ・休憩スペースがない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示における資料の安全性が確保できない。 ・利用者の利便性がはかれない。
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者用エレベーターがない。 ・荷物用エレベーター等バックヤードにあたる場所が独立していない。 ・博物館にトイレがない。 ・講座や体験、ボランティア活動などのための部屋がない。 ・事務室の環境が悪い（狭く、極寒）。 ・施設周辺環境のアメニティが考えられていない 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員にも利用者にも不便があり、博物館として機能させることに無理があつて、双方にストレスが大きい。 ・快適な空間と感じられない。
老朽化	<ul style="list-style-type: none"> ・各設備の老朽化（空調・配管・エレベーターシャッター・衛生設備等）。 ・展示ケース、照明設備の老朽化。 	<ul style="list-style-type: none"> ・資料、利用者、職員への危険度が高い。 ・展示資料に影響がある。
※危険箇所	<ul style="list-style-type: none"> ・建物に付随するガラスや展示ケースに使用されているガラスのほとんどが生ガラスで、飛散防止のための処置がされていない。 ・壁付展示ケースゆがみや・床面の傾きがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者や展示資料への危険が大きい。 ・ケースの設置に影響が大きい。

2 水戸市立博物館の必要性

(1) 水戸の自然、歴史、文化を総合的に伝え育む

- ・ 水戸市立博物館は、県内で唯一の総合博物館であり、水戸の自然、歴史、文化を後世に伝え、包括的に発信する場として必要である。
- ・ 34年間蓄積した水戸に関する資料(コレクション)を活かす場所として必要である。

<博物館の役割>

- ①郷土の財産を収集・保存し、次の世代へ継承する
 - 一貫した資料収集方針に基づく継続性のあるコレクションの維持
 - 郷土の財産を次世代に継承するための、総合的な資料収集
 - 市民からの寄贈寄託を受入れ、市民共有の財産として、未来の市民へ安全かつ確実に継承
- ②水戸の姿を多角的な視点から明らかにする
 - 歴史文化・自然の各分野から行う水戸に関する調査研究
 - 総合博物館ならではの横断的研究で新しい水戸の魅力を創出

(2) 市域内外の人々の学習・交流の場

- ・ 水戸の「歴史と文化」の土台を支える場所として必要である。
- ・ 知的好奇心と心の充足を満たす場として必要である。

<博物館の役割>

- ③わかりやすく、より満足度の高い展示内容を提供する
 - 見て、触れて、誰もが利用しやすいユニバーサルな展示空間
 - 収集資料の公開・活用、地域文化の発信
 - 各分野の常設展、特別展、企画展の開催
- ④幅広い世代の人々に発見や驚き、そして憩いの時を提供する
 - 幅広い世代に向けた知的探究心の触発と充足のための教育普及プログラムの展開
- ⑤地域内外の人々とともに学び、育む機会を提供する
 - 学校との連携、地域との連携、福祉との連携等、柔軟な相互協力の体制を強化
- ⑥満足度の高い時間と空間を提供する
 - 施設設備と周辺環境のアメニティの充実
 - 博物館職員の行動倫理の向上
- ⑦確かで丁寧な情報サービスを提供する
 - 地域の歴史文化、自然情報の蓄積と地域への還元
 - 子どもから研究者、マスコミなどからのレファレンスへの的確な対応
 - 情報公開ツールの充実

(3) 市域の施設との連携を含め観光交流の中核となる

- ・学校等と連携し、実物資料を通して教育活動を支援する場所として必要である。
- ・地域との連携し、市街地の活性化や観光交流を創出する場所として必要である。

<博物館の役割>

⑧地域文化を継承し発展・創造に資する

博物館自体が地域文化の継承者となり、その発展創造への足がかりを提供

⑨中心市街地を元気にする

博物館の資源を活かして、中心市街地の商店街等と協働し、街の賑わいを創出

⑩観光地としての魅力を発信する

市域の他施設やボランティア等の人的資源と協働して、水戸の歴史文化、自然を多方面に発信
文化的観光ステーションの役割を果たす（街巡りの起終点となる）

3 水戸市にはこんな博物館が望ましい

- 「歴史と文化」の街にふさわしい博物館（雰囲気も内容も）。
- ユニバーサルデザインが行き届き、体験型をふくめ、現代の市民の要望にマッチした博物館。
- 子どもから高齢者まで、市民から観光客までが楽しめる博物館。
- 高齢者が経験を活かし、ボランティアとして能動的に活動できる博物館。

水戸市立博物館の置かれている現状をふまえ、課題を解決すべく、水戸市にとっての「博物館のあり方」を検討されることを望みます。

まずは施設の安全性であり、人にとっても、資料にとっても安全であることが基本です。次に、利用者の利便性として、たとえば駐車場やエレベーター、施設の快適さ、わかりやすさなど、幅広い年齢層の多様なニーズに応えられる施設であってほしいと願います。そして、博物館の財産である収蔵資料や学芸員の有効な活用、ボランティアの育成等を通して、地域のつながりの核となるような博物館の整備を望みます。